

第二十四回隠岐後鳥羽院大賞 俳句部門 一般の部

大賞

隠岐牛の糞ゆたかなり木の芽山 埼玉県 増田 信雄

第二十四回隠岐後鳥羽院大賞 俳句部門 入賞作品

石 寒太選特選

隠岐牛の糞ゆたかなり木の芽山

埼玉県 増田 信雄

稲畑廣太郎選特選

満月を歪めてフェリー着岸す

大阪府 讓尾三枝子

宇多喜代子選特選

植田よりもう青き風始まりぬ

岡山県 池田 純子

小澤 實選特選

夜濯を叩いて干して達者なり

京都府 竹村美知子

海士町長賞

隠岐の牛道を譲らぬ夏野かな

岩手県 小野寺洋一

西ノ島町長賞

満月を歪めてフェリー着岸す

大阪府 讓尾三枝子

知夫村長賞

隠岐島渡れるほどの天の川

神奈川県 森 拡之

角川「俳句」編集部賞

牛角刀待つ牛しづか夏に入る

埼玉県 梅田ひろし

島うた歳時記賞

隠岐に鳴る古き駅鈴春惜しむ

神奈川県 千葉 喬子

松 籟 賞

島の子の日焼全身輝けり

東京都 橋本世紀男

石 寒太選準特選

楸邨の島の黒牛小鳥来る

佐賀県 大石ひろ女

稲畑廣太郎選準特選

隠岐島渡れるほどの天の川

神奈川県 森 拡之

宇多喜代子選準特選

牛角力押して押されて押し返す

秋田県 阿部清流子

小澤 實選準特選

島の子の日焼全身輝けり

東京都 橋本世紀男

石寒太選入選

一挺の櫓で漕ぎ渡る夏の隠岐	千葉県	忽那 耕三
少し開け語りかけたき雛の口	熊本県	岩城恵美子
弾丸の形の鮪海荒れる	神奈川県	佐藤 榮一
ロープ投げ島を引き寄す帰省かな	神奈川県	佐藤 榮一
恵方より怒濤や隠岐の牛太る	大阪府	南光 翠峰
隠岐に鳴る古き駅鈴春惜しむ	神奈川県	千葉 喬子
人も減り燕も減りし故郷かな	岡山県	池田 純子
炎天の芯となりたる海女の樽	神奈川県	新井たか志
白南風や隠岐に伝はるしげさ節	島根県	吉浦 増
隠岐祠八百年の苔の花	栃木県	植木 英雄
ねむごろに磨く突き牛夜の秋	神奈川県	陌間みどり
手探りの廃炉計画霧の海	福島県	野中 憲子
赤子名を貰ひて祝ふ桜鯛	大阪府	讓尾三枝子
賜はりし海の四股名や宮相撲	大阪府	讓尾三枝子
隠岐島かなぎ漁師の海の夏	山口県	今井貴代子
島人の歓迎太鼓秋高し	神奈川県	守屋 まち
牛角刀待つ牛しづか夏に入る	埼玉県	梅田ひろし
勝ち負けのなき隠岐の宮相撲	鳥取県	小谷 里子
楸邨の句碑に影置く冬紅葉	千葉県	大久保文夫
木の芽風遠流の院の八百年	千葉県	伊藤 航

石寒太選佳作

卒業の少年送る島の牛	神奈川県	鈴木 経彦
春風をいっしょに配る郵便夫	神奈川県	田中 幸子
後鳥羽院の御廟に鳴ける法師蟬	島根県	山根 一枝
上皇の歌碑洗ひたる花の雨	岡山県	貞住 昌彦
渡り鳥時に休みし舟の上	岡山県	池田 純子
満月を歪めてフェリー着岸す	大阪府	讓尾三枝子
隠岐牛の海見て咀嚼秋高し	島根県	宮下 狂子
蠟螂の楸邨の句碑拝みをり	大阪府	高倉 明子
待春やもの言ひたげな仔牛の眼	栃木県	山崎 綾子
上皇の水無瀬宮跡秋の声	兵庫県	加藤美智子
炎天下一直線の牛の突き	東京都	田中 正博
波静か島の膨らむ木の芽晴	東京都	橋本世紀男
上皇の御火葬塚へ小鳥来る	東京都	菊田 和音
膝の子に島の話や小鳥来る	山口県	吉浦百合子
楸邨の怒濤を浴びる冬鷗	北海道	藤林 正則
螢火や隠岐に二日の句座の旅	島根県	神田 敬子
後鳥羽院の言霊宿し隠岐芽吹く	山口県	河村 正浩
隠岐島渡れるほどの天の川	神奈川県	森 拡之
「よく来たね」の楸邨の声石路の花	東京都	恩田 周子
星流る隠岐へみちびく連絡船	大阪府	井上 雅恵

稲畑廣太郎 選入 選

浄土より遠流の島へ花菜風	岡山県	西村 泉
うぶすなに畳む命や沙羅の花	山口県	永田 芳子
少し開け語りかけたき雛の口	熊本県	岩城恵美子
夕月夜八百年の歌聖をり	茨城県	砂押 悦子
波音と共にいたたく夏料理	茨城県	砂押 悦子
花芒風との会話はじまれり	神奈川県	近藤 久江
猫の目の縦になりをりはたたがみ	岡山県	池田 純子
池の底大方知りし鳩	岡山県	池田 純子
上皇を忍び献茶の夏袴	島根県	金山 栄子
上皇の歌碑洗ひたる花の雨	岡山県	貞住 昌彦
帰省子やバス一本の土の道	岡山県	池田 純子
隠岐へ来て昨日と違ふ秋思かな	山口県	河村 正浩
海水浴泣いてゐる子に名を尋ね	大阪府	讓尾三枝子
待春やもの言ひたげな仔牛の眼	栃木県	山崎 綾子
島の子の日焼全身輝けり	東京都	橋本世紀男
膝の子に島の話や小鳥来る	山口県	吉浦百合子
上皇を慕ふ島人宮相撲	滋賀県	三田村栄子
月光や八百年の院の和歌	千葉県	伊藤 航
星流る隠岐へみちびく連絡船	大阪府	井上 雅恵

稲畑廣太郎 選佳 作

はてしなき海をみつめて秋高し

岡山県

井上 幹彦

五月晴雲の薄める空の色

神奈川県

佐藤 榮一

隠岐見ゆる美保の灯台秋高し

島根県

山根 一枝

軒下を借りて傘出す夕立かな

東京都

御辺 卯徑

炎天の海俯瞰する寺の窓

岡山県

伴 明子

静かなる北向き地藏ちちろ鳴き

栃木県

丸亀 市造

鴛鴦の番長くは続かざる

岡山県

池田 純子

隠岐の牛道を譲らぬ夏野かな

岩手県

小野寺洋一

外出の猫すぐ帰る寒の内

茨城県

野口 光江

隠岐牛の潮風まとふ春野かな

大阪府

讓尾三枝子

春の海慶び島に運ぶ船

大分県

吾 亦 紅

隠岐行の白き航跡夏近し

埼玉県

人見 正

今年また雀がくれに津波跡

宮城県

遠藤 邦泰

碧天に鳶の静止や若菜摘

神奈川県

古屋 徳男

語り継ぐ哀史の島や若葉風

熊本県

石橋 和枝

冬うらら潮遡る魚影つれ

山口県

井原三都子

鶏のこゑに目覚めて島の春

岩手県

及川 永心

しぐるるや兄なる岩にすがる岩

福島県

吉原 瑞雲

稲雀わが足音が散らしけり

静岡県

鈴木 利久

冬紅葉隠岐島より本島へ

福岡県

武田 円笑

宇多喜代子 選入 選

牛つきへ背押されゆく夏の風	宮崎県	永田タエ子
隠岐牛の歩みに弾む春の土	山口県	永田 芳子
波音と共にいたたく夏料理	茨城県	砂押 悦子
隠岐に鳴る古き駅鈴春惜しむ	神奈川県	千葉 喬子
空滑る如風に乗る燕かな	岡山県	池田 純子
後鳥羽院の歌碑立つ杜に夏の蝶	島根県	山根 一枝
飛魚の海原翔ける隠岐航路	島根県	山根 一枝
八百万神住む国へ寄す卯浪	千葉県	加藤 酔歩
波裂きて隠岐に轟く冬の雷	京都府	十川 長峻
飛魚跳んで遙かにしたり隠岐の島	島根県	吉浦 増
炎天の海俯瞰する寺の窓	岡山県	伴 明子
鰯雲誰のものでもなく浮かぶ	茨城県	舘 健一郎
漁火の隠岐に列なす晩夏かな	愛媛県	宮部 敏博
波あらば波の高さに浮寝鳥	岡山県	池田 純子
水温む水滑らかに手を伝ひ	岡山県	池田 純子
隠岐の牛道を譲らぬ夏野かな	岩手県	小野寺洋一
漁火を沖に連らねし無月かな	茨城県	平塚 利雄
島人と島牛繫ぐ花明かり	京都府	吉尾 薫
一本の古木風雨に隠岐の秋	鳥取県	吉村 尚久
新涼の牧畑の馬ひざを折る	東京都	木村 公魚

宇多喜代子 選佳 作

春風や高速艇は便増やす

兵庫県

福島 令子

卒業の少年送る島の牛

神奈川県

鈴木 経彦

出航のテープきりきり大南風

愛知県

稲葉 京閑

盆入りの晴れて込み合ふ渡船かな

千葉県

中村 智善

弾丸の形の鮪海荒れる

神奈川県

佐藤 榮一

はてしなき海をみつめて秋高し

岡山県

井上 幹彦

帰省子の島の母校に立ち寄りぬ

大阪府

南光 翠峰

猫の目の縦になりをりはたたがみ

岡山県

池田 純子

島の木はみな南向く神の留守

神奈川県

尾崎 竹詩

船便の改定もなく秋の天

東京都

北島 孝子

空ばかり眺めても空青き空

福岡県

和田 平司

草を食む牛の尻尾に秋茜

熊本県

永田 証真

島守の歌詠む声か初松籟

神奈川県

嶋村 博吉

竹の皮脱ぎし力に丸まれり

岡山県

池田 純子

森青蛙水の色して池に落つ

岡山県

池田 純子

春立つや隠岐突端を路線バス

大阪府

讓尾三枝子

隠岐行の白き航跡夏近し

埼玉県

人見 正

遠く来て漫ろ杖曳く花野径

鹿児島県

永里 厚子

楸邨の句碑に影置く冬紅葉

千葉県

大久保文夫

寒濤へ重心落とす隠岐島

神奈川県

三玉 一郎

小澤 實 選 入 選

盆入りの晴れて込み合ふ渡船かな	千葉県	中村 智善
波音と共にいたたく夏料理	茨城県	砂押 悦子
帰省子の島の母校に立ち寄りぬ	大阪府	南光 翠峰
燕来し地面すれすれ掠めゆき	岡山県	池田 純子
銀漢や真つ平なる隠岐の海	大阪府	小畑 晴子
酒吹きて鬪牛磨く月涼し	千葉県	奥村 利夫
隠岐の牛道を譲らぬ夏野かな	岩手県	小野寺洋一
ねむごろに磨く突き牛夜の秋	神奈川県	陌間みどり
音立てて巨体激突牛角力	島根県	永海 尚二
紋白蝶雄には雌の光見え	岡山県	池田 純子
隠岐牛の糞ゆたかなり木の芽山	埼玉県	増田 信雄
隠岐牛の潮風まとふ春野かな	大阪府	讓尾三枝子
ちちろ鳴くはうへ動かす猫の耳	東京都	平林けい子
血走る目剥く牛突きや稲光	愛知県	西村 愛美
牛角刀待つ牛しづか夏に入る	埼玉県	梅田ひろし
秋空や御座船小さく隠岐とほし	東京都	川又憲次郎
牛角力押して押されて押し返す	秋田県	阿部清流子
自転車にかけよってくる仔馬かな	島根県	日下 踏子
一湾をしろがねにして冬日和	兵庫県	高橋 純子
承久の五十六基の墓囲ふ	岐阜県	成原 寂栄

小澤 實 選 佳 作

上皇の化身の鳥の声や秋	神奈川県	竹澤 聡
春風や高速艇は便増やす	兵庫県	福島 令子
船は水脈ひろげて行けり花豌豆	東京都	橋本 絢
隠岐に鳴る古き駅鈴春惜しむ	神奈川県	千葉 喬子
緑陰の鳥居を潜る火葬塚	島根県	山根 一枝
獅子独活の花の盛りや船帰る	神奈川県	新井たか志
腰おろす流木の浜星月夜	宮崎県	河野 正
豪快な潮撒き隠岐の相撲祭	大阪府	岡崎 正子
上昇気流乗り継ぎて鷹飛べり	岡山県	池田 純子
山寺の石段の先花御堂	栃木県	小杜 芳野
新涼の牧畑の馬ひぎを折る	東京都	木村 公魚
灯火親し隠岐の地酒に微酔いて	千葉県	菱木 良一
炎天下一直線の牛の突き	東京都	田中 正博
屈強な牛の反芻日脚伸ぶ	神奈川県	寶子山京子
上皇のこころの怒涛冬の星	千葉県	深山きんぎょ
石露咲くや上皇祀る隠岐神社	東京都	嶋田 恵一
上皇の腰掛け椅子や鰯雲	愛媛県	井上由美子
八朔の隠岐の牛突き島揺らす	岡山県	岡田 邦男
牛の目の蒼みがちたる島の秋	東京都	古賀のり子
二度当たれば勝ちを譲りぬ島相撲	東京都	蔵田かをり

青少年の部

第二十四回隠岐後鳥羽院大賞 俳句部門 入賞作品

石 寒太選 最優秀作品

上皇の寝息も聞ゆ星月夜 福島県 関根 杏華

石 寒太選 優秀作品

隠岐島どこまでいけば虹の橋 黒崎琉ノ介

埼玉県 特別支援学校 坂戸ろう学園

稲畑廣太郎選 最優秀作品

島国の夜明けはいつも春を待つ 佐々木彩乃

埼玉県 特別支援学校 坂戸ろう学園

稲畑廣太郎選 優秀作品

木守柿赤く色づく青い空 村上 蓮

島根県 海士町立福井小学校

宇多喜代子選 最優秀作品

ひっそりとひらいてをりぬ枇杷の花 東京都 鯨木 忍ひ

宇多喜代子選 優秀作品

夜歩きの心細さや冬三日月 愛媛県 瀬野 竜旺

小澤 實選 最優秀作品

上皇の寝息も聞ゆ星月夜 福島県 関根 杏華

小澤 實選 優秀作品

山道の行く先ふさぐ青大将 宮城県 横溝 惺哉